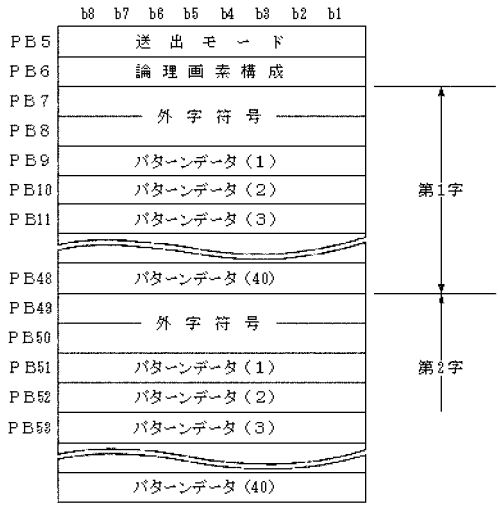
別記第６　符号の種別と使用範囲

制御機能等	番号 / 使用条件 / 符号等	1 ノンスペーシング文字による合成中	2 ＲＰＣにより繰返す符号列中	3 ＭＣＳ―ＭＣＴ間	4 ＣＣＣにおけるＳＣＣ―ＥＣＣ間
空　　白	ＮＵＬ	○	○	○	○
動作位置制御	ＡＰＦ　ＰＡＰＦ	×	×	○	×
	ＡＰＢ　ＡＰＤ　ＡＰＵ ＡＰＲ　ＡＰＳ	×	×	×	×
拡張制御	指示及び呼出しの制御機能	○	○	○	○
情報分離	ＲＳ　ＵＳ	×	×	×	×
ベ　　ル	ＢＥＬ	×	×	×	×
両面消去	ＣＳ	×	×	×	×
キャンセル	ＣＡＮ	×	×	×	×
特殊機能	ＳＰ　ＤＥＬ	Ｔ	Ｔ	○	○
着　　色	ＢＫＦ～ＷＨＦ　ＣＯＬ	×	○	○(1)	○
文字サイズ	ＳＳＺ～ＮＳＺ　ＳＺＸ	×	○	×	×
縮小着色	ＭＣＳ　ＭＣＴ	×	○	×	×
フラッシング	ＦＬＣ	×	○	○	×
コンシール	ＣＤＣ	×	○(2)	○(2)	×
パターン極性	ＰＯＬ	×	○	×	×
書込みモード	ＷＭＭ	×	×	×	×
マクロ指定	ＭＡＣＲＯ	×	×	×	×
囲み制御	ＨＬＣ	×	○	×	×
文字繰返し	ＲＰＣ	×	×	×	×
アンダーライン	ＳＴＬ　ＳＰＬ	×	○	×	×
時間制御	ＴＩＭＥ	×	×	×	×
書式選択	ＳＷＦ	×	×	×	×
合成制御	ＣＣＣ	Ｔ	Ｔ	○	×
文字符号集合	スペーシング文字 モザイクＡ、Ｖ、外字	Ｔ	Ｔ	○	○
	ノンスペーシング文字 モザイクＣ、Ｄ	○	○	○	○

注１　○：使用可　×：使用不可　Ｔ：終端として使用可
　２　マクロ符号については、展開した符号列に対して使用範囲が定まる。
　３　次の事項においては、表中の事項を制限する。
　⑴　パレット指定を除く。
　⑵　単純コンシールに限る。

別記第７　２バイト外字符号（ＤＪＣＳ文字）の符号化

項目	符号化の内容
１　ＤＪＣＳデータユニットデータの構成	
２　ＤＪＣＳ文字の符号化	⑴　送出モードは、別表第二十五号の２の⑵に同じ。 ⑵　ＤＪＣＳ文字の論理画素構成は、別表第二十五号の別記第２の06／11に同じ。 ⑶　外字符号は、第１バイト及び第２バイトをそれぞれＪＩＳ　Ｃ6226（1983）第２水準漢字の文字符号の第１バイト及び第２バイトとし、各文字のパターンデータの直前に送出する。 ⑷　ＤＪＣＳパターンデータは、１字40バイトで送出する。 パターンデータの配列は、別表第二十五号の２の⑸に同じ。 文字のパターンデータを送出する場合、文字のデザイン枠は、別表第二十五号の別記第３の⑺を標準とする。 ＤＪＣＳの特殊サイズ１画素構成により送られた文字データを異なるサイズで表示する場合、特殊サイズ１画素構成のデザイン枠と各サイズでの表示のデザイン枠との位置関係は、別表第二十五号の別記第４に同じ。 同時に定義できるＤＪＣＳ文字の最大データ量は、基本機能の場合200パケットとし、追加機能を含む場合は800パケットとする。ただし、ＤＪＣＳ及びＤＲＣＳを同時に定義する場合を含む。